

地方創生で活気ある町に 議会だより

No. 77

2017. 4. 30発行

からうら



病院改築5億円積立て

2 ▶ 3

火葬料半額助成

4

早期の県道改修を

6 ▶ 15

(一般質問)

Uターンのヤングファーマー

16

暮らしを守る予算



改築基金

5億円積み立て (5年間)

ひな会議は3月7日から23日まで開会し、28年度補正予算や29年度当初予算、条例改正などを審議し、全議案を原案通り可決した。

29年度一般会計の予算総額は35億5300万円で、歳入では町税や地方消費税交付金が減少し、繰入金が増加した。

歳出では、救急救命業務費や小学校改修工事費などが増え、病院改築基金として1億円を積み立てた。



第9分団小型ポンプ車
購入 810万円



阿南方面通学車輛
購入 450万円



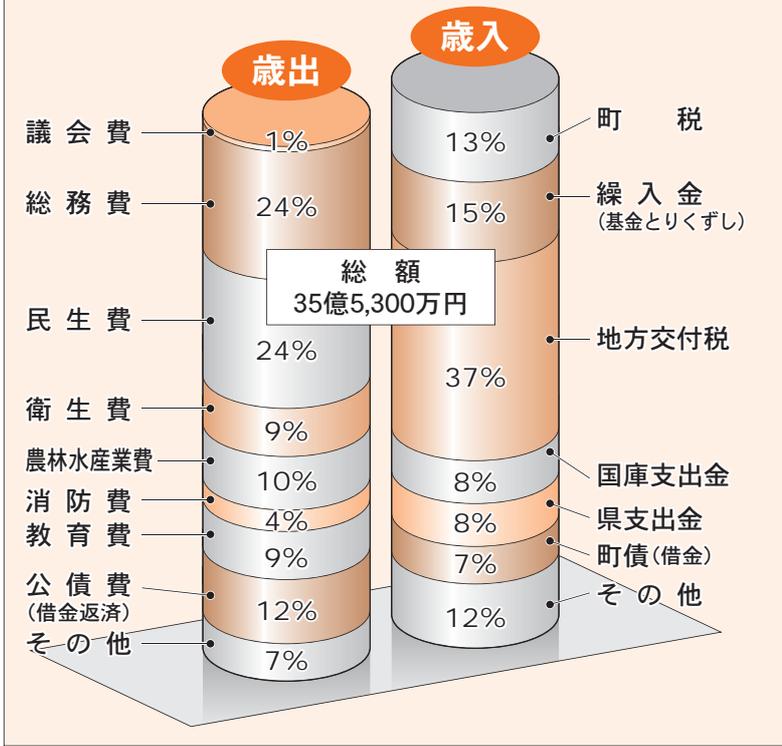
生比奈小学校トイレ改修
5100万円



救命士業務開始
5500万円

29年度 主な事業

一般会計当初予算の歳入・歳出構成比



いのちと 勝浦病院



特別会計予算 (千円単位四捨五入)

国民健康保険	9億6271万円
介護保険	9億2327万円
勝浦病院	7億 997万円
後期高齢者医療	8827万円
簡易水道	1億2064万円
農業集落排水事業	3032万円
道の駅物産販売	1989万円
住宅新築資金等貸付	74万円

特別会計とは

一般会計とは別に、それぞれの目的を持って事業を行う会計である。

28年度より繰越し



活性化センター
(仮称) 改修



英語助手 (ALT) 2 名体制へ
785万円 (8月から)



小松島火葬場 4 万円
利用助成



アグリサポート設立
準備 460万円



議案に対する質疑

食の自立支援事業

節議員

問 配食サービス、調理と配達に問題はないのか。

答 大西福祉課長

1000食の増となった。施設も老朽化し、人員も不足気味なので、一部を民間委託できないか協議している。



増え続ける配食サービス

美馬議員

問 給食センターを利用して配食サービスができないのか。雇用にもつながらないのか。

答

給食センターは選択肢になかった。現有施設の使用が長期的にどれぐらい可能であるのか検討していく。

火葬料の助成は

節議員

問 7月から小松島市火葬場を利用すれば、料金の半額4万円が助成される。

答 窓口での負担か、申請後の還付か。

節住民課長

窓口での支払いが半額です。



もっと増やせ賃貸住宅

賃貸住宅の新規建設を

松田議員

問 今年度末執行だった定住促進賃貸住宅建築費助成金が、新年度予算に計上されている。どのような取り組みをしているのか。

答 中田町長

人口減少への効果が具体的に確認されているが、PRを含め努力不足だった。関係課とも十分連携し、整備が進むよう取り組んでいく。

1月会議

1月19日に開会し、勝浦病院改築事業基金の設置条例など3議案を可決した。

28年度補正予算

武道館天井改修費、ふるさと住民票交付事業など999万円。

「参議院選挙における合区」の解消に関する意見書

提出者 麻植秀樹
賛成者 全議員

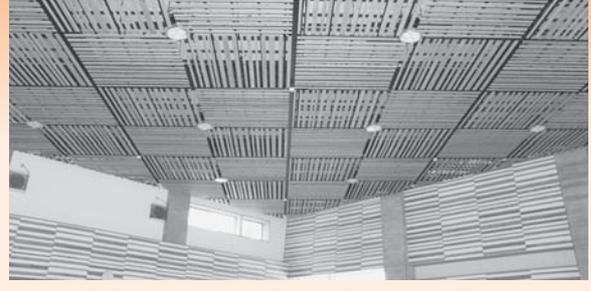
町民の声に関する質問
みかん採り
お助け隊

井出議員

問 みかん採りお助け隊の利用状況と今後の課題は何か。

答 海川産業交流課長

10戸から20名の要望があり、13名雇用した。町内2名、町外11名だったが、町外は5000円、町外は1万円の交通費を支給した。



法改正により耐震改修（武道館つり天井）

問 各戸の労働者名簿を一元管理したかどうか。

また、短時間でも働けるよう若い人のみかん採り養成講座を開いたらどうか。

答 海川産業交流課長

協議会やJAと相談して取り組みたい。

宅地造成事業

節議員

問 申し込みを受けける際、子育て世代を優先するののか。

答 藪下副町長

選定の段階で、事業の目的に沿った内容になるよう、優先順位を決める。

町民の声に関する質問



子育て世代を応援（宅地造成）

町の課題に切り込む!

一般質問

議員が町の執行部に対して、様々な角度から町政について質問すること

質問議員	質問事項	ページ
美馬友子	1、「放課後デイ」なぜできないのか 2、言語訓練、町で可能か 3、勝浦病院に期待すること	6
仙才守	1、ケーブルテレビ、セット料金見直しを 2、国際交流の方針は 3、外部との交流・連携事業の推進策は	7
松田貴志	1、県道徳島上那賀線棚野地区狭あい部、改良に向け強くアピールを 2、こどものひろば(子育て交流支援センター)新たな事業は 3、保育園での一時預かり事業の実現を	8
松下一一	1、沼江バイパス工事、土捨て場の排水対策は 2、町道底地への課税は 3、宅地造成事業 4、土地改良区の合併は 5、圃場組合への給水は	9
森本守	1、鳥獣害対策の強化を、有効なネットは 2、県道工事による渋滞対策を 3、健康家族に表彰を 4、町のPRに生かせ	10
麻植秀樹	1、勝浦病院改築、総事業費は 2、阿南方面通学バス購入 3、リサイクル法の報告漏れは無いのか	11
籾公一	1、救急通報の改善を、直通ダイヤルの周知は 2、国保運営の県移管への課題は	12
井出美智子	1、コンテナ貯蔵が可能な補助を 2、空き家改修補助をもっときめ細かく 3、学童保育支援員の体制強化を 4、入学準備金の前倒し支給を	13
国清一治	1、町を憂う、予算・決算・事業の遅れ 2、なぜ遅れる、星谷工区 3、ひな祭り、リオから東京へ	14
大西一司	1、県道徳島上那賀線、棚野地区の改良 県に陳情を 2、勝浦病院改築、町民のニーズと経営面のバランスは 3、農業振興、統一ダンボール普及は進んでいるか 4、町の宅地造成	15

会議予定日 **5月16日(火)** **6月16日(金)**

白草千鶴(生名)
三木晃代(横瀬)
米川恭平(沼江)
坪井なつき(中山)
小山美江子(星谷)

福岡順二(黒岩)
押栗友輝(与川内)
大久保 巖(今山)
坪井道恵(石原)
戸田千恵美(坂本)

29年度新モニター決定(敬称略、順不同)

新モニター10人全員が参加して、広報委員会との意見交換会を実施した。
子ども議会が好評で継続してほしいとの声や、外国語表示の看板設置が必要との意見があった。また、新しい企画の提案や紙面づくりへのアイデアなど多くの提言があり、今後に生かしていきたい。



ネット配信について多くの意見が

モニター会議
4月13日に開催



美馬友子 議員

放課後デイ

なぜできないのか

人材確保が困難（福祉課長）

問 障がいを抱えた子どもたちが通う学童保育「放課後デイ」の町内設置が強く望まれている。「勝浦町手をつなぐ育成会」の協力で、郡内468人に二一ズ調査を行った。349人（75%）から回答を得、その内約10%が、子どもの発達に気になり悩んでおり、さらにその保護者の88%が、今すぐにでも「放課後デイ」を利用したいと答えている。

答 以前から設置を訴えているが、なぜできないのか。

答 大西福祉課長 実現に向け取り組んでいるが、人材確保が困難になっている。法改正により、当初は実務経験者で良かったが、教員や社会福祉士、保育士などの有資格者が求められるようになった。

その他の課題として、確実な入所見込みや設置場所の選定などがある。今後も専門機関や団体

と協議を重ね、保護者と面談していく。

問 住民に障がいの特性を知ってもらうことが大切。

住民も学ぶ場所や機会が必要ではないか。

答 椎野教育長 29年度の人権啓発で機会を設けたい。

言語訓練

町で可能か

問 「知事とワイワイトーク」の中で、子育て中のママから、「町内で言語訓練をできないか」との要望があった。

知事は「県も協力できる」と答えていたが、いつできるのか。

勝浦病院

改築に

期待すること

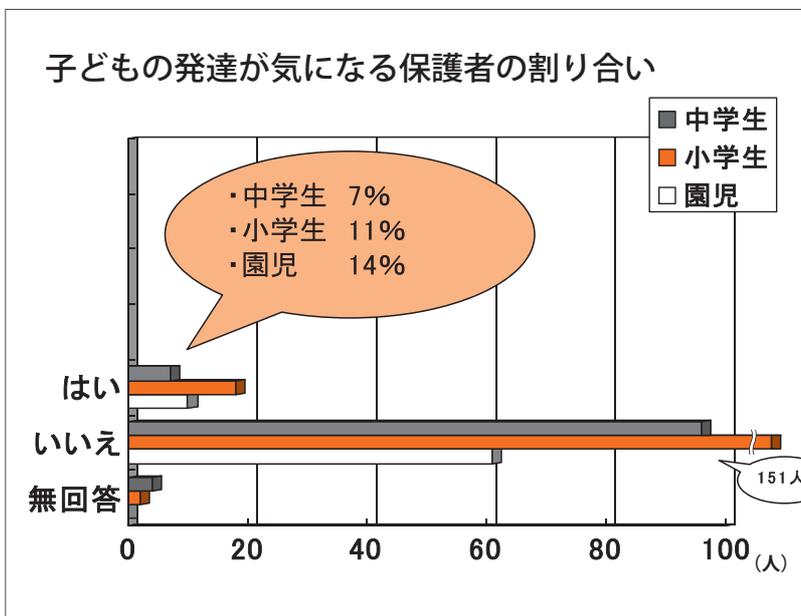
問 子どもから高齢者まで、医療、福祉などを総合的に相談できる窓口や健診、健康づくりの施設を病院と廊下続きで建設できないか。

答 中田町長 知事に伝え、早く実現できるように取り組む。

その他の質問

○病院改築、地元説明を

○看護教育師長を招き、看護で選ばれる病院に



郡内で二一ズ調査を実施

大西福祉課長

地域包括支援センターや役場、社協をそれぞれ結ぶことが今後必要である。

藪下副町長

将来あるべき医療提供体制を実現するために

- ① 病床機能の分化、連携
- ② 在宅医療の充実
- ③ 医療従事者の確保、養成の政策が必要。

窓口の一本化は非常に有効な手段であるが、現状では制約がある。



5名の議員がプロジェクターを使って質問



仙才 守 議員

ケーブルテレビ

セット料金見直しを

見直しはしない (町長)

問 インターネットはどのくらい利用されているのか。

答 野上参事

業者からは個人情報保守義務を理由に回答が得られなかった。早いうちにアンケートを実施したい。

問 本町によく似た自治体で、インターネット利用率約30%の事例がある。インターネットを利用しない家庭に対して、接続料金(税抜きで月額1070円)を減額する件について、業者との協議結果は。

答 野上参事

3回会合したが、接続料金減額については進展していない。

答 中田町長

今までどおりセット料金でやっていきたい。

問 インターネット接続料金を減額したとしても、

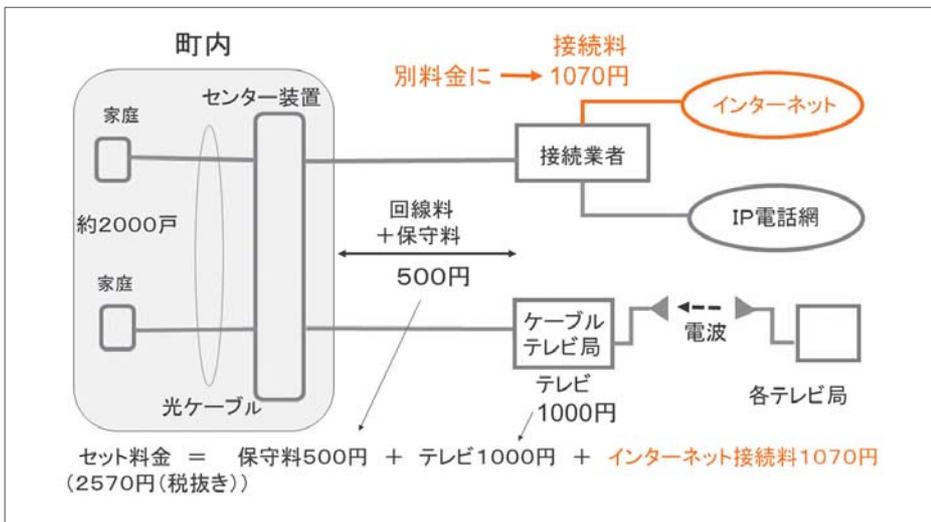
他の住民の料金には影響を与えない料金構造になっている。なぜ料金を改定できないのか。

答 野上参事

本町と上勝町及びIRU業者との3者契約になっている。すぐに変える

ことは難しいが、今後も協議を続けていく。

問 昨年廃止した「テレビでインターネットを閲覧するための装置」を再導入する考えは。



インターネットを別料金に

答 野上参事
コスト面などを十分検討の上、有効であれば事業化したい。

問 毎年1億数千円もかかっている役場の情報システムと、光ケーブルの経費削減のため専門職員を配置してはどうか。

答 中田町長

専門職員を育成するのがベストだが難しい。従来どおり専門知識が豊富なコンサルタントに依頼して進めていく。

国際交流の方針は

問 町の活性化策として、外国との文化交流や学校間交流、また自治体の姉妹提携などが考えられる。国際交流についての方針は。

答 中田町長

ブラジル・リオ・オリピックでの「ひな人形

展示」は好評だった。これを2020年東京オリピックにつなげていきたい。

外部との交流・連携事業の推進策は

問 本町は他の自治体と比べて、企業や大学などの外部機関との連携実績が少ないが推進策は。

答 中田町長

企業とは発災時の相互協定を締結している。また、四国大学と包括的連携協力に関する協定締結や、テライトオフィスやコールセンターの誘致についても検討している。

棚野地区狭あい部 改良に向け強くアピールを

地元からの要望書なども必要（町長）



松田貴志 議員

問 県に事業推進を強くアピールするには、具体的な提案や基金を利用した先行事業の実施などが必要でないか。

答 柳沢建設課長
町が県道改良を実施するのは適当ではない。

答 中田町長
沼江バイパス3期工事は、町が残土処理場を作ることでも事業が進んだ。県に強いアピールをするためには、地元関係者による協議会設置や要望書等が必要になる。

問 通学路としての安全対策強化のためソフト、ハード両面で「峯町一致」の体制整備、要望活動の展開を。

答 中田町長
学校関係者からの要望が、より強いアピールとなる。事業推進に向け、何がベストなのかを検討し、主体的に取り組んでいきたい。



開所式でにぎわう「こどものひろば」

こどものひろば （子育て交流支援センター） 新たな事業は

問 4月から新しい施設の利用が始まるが、利用

者を増やすための新たな取り組みは。

答 大西福祉課長
現在、保育所等に通っていない0歳児から就学前の児童数が約70名いる

が、利用者は25人から最大でも40人だ。こあら組との連携で魅力ある事業展開を図り、乳児検診等の利用も検討したい。

「預かりはできないのか」との問い合わせがあったが、国の補助要件を満たすだけのニーズは無いと考える。町単独で実施するのは難しく、病児・病後児保育事業やファミリースポーツ事業を活用してほしい。

■その他の質問

- 移住・定住促進策
- 情報発信力の強化を

答 大西福祉課長
子育てに不安を持つ保護者のために、ベテランパパ、ママとの情報交流会等を予定している。今後も自宅の居間感覚で子育てができる空間の提供をしていきたい。

保育園での 一時預かり事業 の実現を

問 一時預かり事業実現に向けての課題は。

答 大西福祉課長
「里帰り出産時に一時

沼江バイパス工事

土捨て場の排水対策は

29年度に測量設計する（建設課長）

問 沼江バイパス3期工事の進捗状況は。

答 柳沢建設課長
境界立会を終え価格決定し、用地交渉に当たっている。

交渉内容については関係者への影響があるため詳細説明は避けたい。

問 用地買収が終わったところから一部でも着工できないのか。

答 柳沢建設課長
一般的に全部の用地買収が終わらなければ着工しない。

問 土捨て場の用地買収の進捗状況は。

答 柳沢建設課長
関係者から、バイパス

工事には協力してもらえ
る意思を確認している。

買収や立ち木補償について、個々の事情があるので調整中である。

問 埋め立て後の用地活

用について、町の方針を示すべきでは。

答 柳沢建設課長
災害対策などへの利用が考えられるが、今後、地元関係者と相談して決めていきたい。

問 土捨て場が完成し、開発されると周辺への排水に問題が出ると考えられるが、どのような対策を立てているのか。



大雨時の排水対策を設計（沼江）

答 柳沢建設課長
水量や流れの速度が大きく変わり、水位も上がる
ことが予測されるので、
対策工事を行うため、29
年度に測量設計を行う。

町道底地への

課税は

問 農地の一部を町道に提供し、残りの土地を宅
地転用した場合、町道底
地は宅地並みの課税とな
るのか。

答 笹山税務課長
図面を添えて現況届け
を提出すれば、道路部分
については非課税となる。

宅地造成事業

問 高齢者向けの宅地を
造成しては。

答 中田町長
高齢者を都市圏から地
方に移住を促す「CCRC
構想」があるが、今後
のまちづくりを生かせる
か参考にした。

土地改良区の 合併は

問 沼江・檜洲土地改良区
は、高齢化や後継者不足
で運営が危ぶまれている。
他の改良区との合併は可
能か。

答 藪下副町長
各改良区はそれぞれの
定款に基づき事業を行
なっているため、目的が異
なる場合、合併は難しい。
ほじょう

圃場組合への

給水は

問 鶴免、石原の両圃場
組合へ恒久的、安定的な
給水はできないか。

答 海川産業交流課長
多面的機能支払い交付
金制度を活用して、ポン
プなどの農業用施設を補
修、更新することができ
る。

松下一一 議員



森本 守 議員

鳥獣害対策の強化を

有効なネットは

5センチ角を普及させたい (産業交流課長)

一般質問



5 cm角ネットの普及を

問 鳥獣害対策用ネットが破られないための対策は。

答 海川産業交流課長 先進地の上勝町では、5 cm角の網目にすれば被害は少ないとのことなので、勝浦町も5 cm角のネットを普及させたい。

問 担い手がいなくなり営農できなくなった農園が増えているが、対策は。

答 海川産業交流課長 中山間集落協定者の中

から後継者を探してほしい。

問 農薬の安全性について対策は。

答 海川産業交流課長 病害虫の駆除や雑草除去など農作業の負担軽減のため、農薬は必要不可欠。購入時に内容をよく確認し、散布時には保護具を着用するよう指導していく。

問 勝浦みかんの平均生産原価は。

答 海川産業交流課長 原価はkg当たり200円と算定している。

問 果樹試験場閉鎖への対策は。

答 海川産業交流課長 熟練農業者、JAの技術者、試験場の普及員と連携しながら農業技術の向上に努めたい。

県道工事による 渋滞対策を

問 ビッグひな祭り開催中に、県道工事のため大渋滞が発生した。対策が必要ではないか。

答 柳沢建設課長 今後は県の担当者といベント関係の情報を共有して、渋滞緩和に努めたい。

問 以前は、自分で健康管理が出来ている方を表

健康家族に表彰を

彰していたが、現在どうなっているのか。

答 笹山税務課長

現在は国保連合会で健康家庭表彰があるが、世帯単位で3年間病院にかからず、滞納がないなどの条件を満たす対象者がここ数年出ていない。地方公共団体にはヘルスケアポイントや、保険税の支援・健康家族表彰等をやっているところもある。実現可能か研究してみたい。

町のPRに 生かせ

問 「勝浦の民話と伝説」が出版されている。ウォーキングなどで現地に行った時、楽しさが増える。PRに使うてはどうか。

答 河野教育委員会事務局長 観光パンフ・現地案内図などに活用し、勝浦文化の発信に努めたい。



勝浦文化の発信を



麻植秀樹 議員

勝浦病院改築

総事業費は

約28億円の見込み（参事）

問 総事業費の見込みは。

答 野上参事

本体の改築工事が26億3千万円と関連設備費が1億7千万円。総事業費28億円と見込んでいる。

問 財源の将来不安はないのか。

答 野上参事

病院改築の費用負担は病院が13億円、町が15億円となる。そのうち9億5千万円は過疎債で、70%は交付税措置があるので平成34年から年間約2800万円の負担で収まる。

問 基本構想案はいつ町民に説明するのか。

答 笠木地方創生推進室長

住民代表による改築検討委員会や議会の特別委員会などで意見を聞き、基本構想案を策定した。パブリックコメントを集約し、意見に対する町の考え方をホームページに公開する。

問 病院職員との調整はできているか。

答 笠木地方創生推進室長

さらに調整が必要であり、十分協議をしながら進めたい。

問 取り合い道路が必要になるのでは。

答 野上参事

財政上可能であれば整備したい。

阿南方面通学 バス購入

問 バス購入の経緯とメリットは。

答 河野教育委員会事務局長

昨年1年間試行し、保護者からの継続要望があった。現在のジャンボタクシーでは定員オーバーが予想されるので、14人乗りのコミュニーターマイクロボスの購入を計画した。

メリットは、運行にかかる経費が年間70万円削減でき、定員オーバー時のコスト高の回避や、町営化により公共性と公平性が確保できる。

運行事業の中止さえなければデメリットはない。

リサイクル法の 報告漏れは 無いのか

問 交流支援センター改築工事、県への解体通知はできていたのか。

答 大西福祉課長

県に問い合わせした結果未通知が判明し、3月3日に提出した。建設リサイクル法の手続について十分理解しておらず提出が遅くなった。今後は法令を基本とした事務に努める。



未通知が判明した解体工事

救急通報の改善を

直通ダイヤルの周知は

各家庭にシールを配布（参事）



議員 公一 節



直通ダイヤルはナンバープレートと同じ「42-2500番に！」

一般質問

問 4月から救急車に救命士が同乗し、「町民の命を守る」業務に大きな期待が寄せられているが、それには救急車の一刻も早い現場到着が不可欠である。

転送電話の接続ミスによる出動遅れを回避するため、直通ダイヤルをもっと分かりやすい番号に変更できないか。

答 野上参事
変更は可能であるが、今の番号は20年近く使われている。
現在、各地区で救命士が救急業務の説明を実施しており、同時に直通ダイヤルの周知も行なっている。

問 各家庭にシールを配布し、分かりやすい場所に貼ってもらい、早く通報できるようにしては。

答 野上参事
認知度を上げるため、各家庭にシールを配布したい。

また、広報で救命士の業務内容をシリーズ化し、そこでも直通ダイヤルを記載する。

問 救急車の出動が重複する場合の対応は。

答 野上参事
役場開庁時であれば、職員がもう1台の救急車で患者輸送することができる。

国保運営の 県移管への 課題は

問 国保運営が平成30年度から県に移管されるが、未だ町に及ぼす影響について説明されていない。

現在、県内市町村の国保保険料は1・7倍の格差があるが、平準化されると勝浦町の保険料が大幅に上がることが懸念される。
見通しと基金の扱いは。

答 笹山税務課長

保険料は各市町村の医療水準を基にするので、同じ保険料にはならないことになっている。基金は今後の保険料アップに対応する緩和措置として、町独自で活用できる。

問 町の新たな負担と内容は。

答 笹山税務課長
新たに分担金が発生するが、内容については決

まっていない。

問 短期間で制度設計をしなければならぬが、情報開示と町の優位性確保のため、県への提言が必要では。

答 中田町長

30年度の予算に反映させるには制度設計を急ぐ必要があり、協議内容は十分に議会へ報告していく。

町の優位性確保についてもしっかりと提言していく。

■その他の質問

○地球温暖化対策の取り組みは



井出美智子 議員

コンテナ貯蔵が可能な補助を 高齢化対策として必要だ (町長)

問 高糖系みかんへの改植が進み、生産量が増えて貯蔵庫を必要とする農家が増えてきた。

せいろ式でなく、軽トラが入るコンテナ貯蔵が可能な貯蔵庫が高齢化対策としても最善ではないか。補助要件の見直しを。

答 中田町長

みかんの高値が続ぎ、農家の生産意欲も高まっている。

高齢化対策は必要な施策で、より良い補助を検討する。

空き家改修補助をもっときめ細かく

問 高知県では上限900万円、補助割合が国50%県25%町25%で空き家を改修し地域資源に変えている。徳島県でも実現できないのか。

答 敷下副町長

まだ、県ではこの制度はない。

問 所有者に限られている町の補助制度だが、相続人への補助はできないのか。

答 海川産業交流課長

現行の補助要件は、「自己所有物件を貸すため」の改修であることとなっている。

問 相続人の話し合いで所有が明らかになれば、移住改修の補助をできるようにしたらどうか。

答 中田町長

県の相談室等、専門家に相談し、移住が進むよう取り組んでいきたい。

学童保育支援員の体制強化を

問 新年度から経済弱者に対する支援策が充実されて、利用者増が予想される。施設、環境、指導体制の強化が求められる。特に「ちやいるごクラブ」の教室と運動場の間の用



事故が起こる前に改善を

水が危険で早急な安全対策が必要だ。改善を。

答 大西福祉課長

安全対策は、早急に対応する。

問 勝浦ならではの取り組みとして、ボランティア

アを募り宿題サポートなどに取り組んだらどうか。同時に指導員を増員し運営体制の強化を。

答 中田町長

保護者会とよく協議したい。

入学準備金の前倒し支給を

問 新入学時には、事前に多額の経費が必要のため、八幡浜市や香南市など各地で入学準備金の前倒し支給が取り組まれている。

勝浦町でもできないのか。

また、広く制度を知らせるために申請書の配布をしたらどうか。

答 椎野教育長

申請書の配布は前向きに検討する。

答 中田町長

他の市町村の動向を見ながら善処する。

町を憂う

予算・決算・事業の遅れ

事業の透明性、費用対効果を検証（町長）



国清一治 議員

問 今会議も当初予算の議案、説明資料等の差し替え、訂正が続いた。ここ数年常態化している。執行業務は危機的状況にある。

どう指導しているのか。

答 中田町長

緊張感をもって対応しなければ事件、事故につながるかと認識している。職員には、チェック体制をとり、訂正のない事業執行を指導しているが、十分ではなかった。

問 27年度決算は認定までに何カ月もかかり、反対意見が多く、課題を残した。問題は何か。今後の改善策は。

答 中田町長

ケーブルテレビ更改工事関係や広告宣伝費の支払いが問題となった。

また、事業の執行が大変遅いなど指摘があった。今後、事業の透明性や費用対効果を十分検証し、住民サービスの低下にな

らないよう執行したい。

なぜ遅れる

星谷工区

新年度早々、
県に要望（副町長）

問 県道新浜勝浦線改良工事は「中山工区を終了し、27年度の早い時期に星谷工区着工」と答えてきたが進んでいない。

現状はどうなっているのか。

答 柳沢建設課長

県は、27年度に事業化に向けた現地調査を実施し、28年度には道路600mの測量、設計を行った。29年度には用地測量を予定している。

問 この工区は道幅も狭く交通事故も多発している。児童生徒の通学路であり、安全確保のため25

年5月に地元PTAから陳情書が出され、11月には地元地権者の同意書、全戸署名を添えて町、県に陳情した。再度県に強く要望すべきでは。

答 藪下副町長

地元の熱い思いを受けて、新年度の早い時期に県とスケジュール調整し要望したい。

ひな祭り

リオから東京へ

問 町長は所信表明で「東京オリンピック開催を、町づくりのチャンスにしたい」と述べているが、具体的にどのようなことか。

答 中田町長

昨年の8月にブラジル・リオのオリンピックにひな人形が展示され、大きな成果をあげた。今後「リオから東京へ」と2020開催に向けてさらに観光交流、定住促進を図って行きたい。



早く工事を（星谷工区）

棚野地区の改良

県に陳情を

要望に行く(町長)



大西一司 議員



県へ陳情し、改良を急げ

問 長年の懸案である棚野地区狭あい部の改良は、県と町の協調体制に問題があるのではないか。改めて地元などの理解を得て、議会や関係者一丸となって県に陳情すべきだ。

答 中田町長 町民の安全安心のために改良が必要と考えている。関係者の理解を得て、私が先頭に立って要望に行く。

勝浦病院改築

町民のニーズと経営面のバランスは

問 町民の要望は診療科目増や保健センター施設の設置、アクセス道路の整備など、大事なことばかりだ。

答 近年、病院経営が厳しくなる中、28億円の建設費の返済が大きな負担となるのではないか。計画を誤れば町民サービスは低下する。町民のニーズと経営面のバランスをどう考えているのか。

答 中田町長 郡内で唯一の有床病院で、町民にとって必要不可欠な病院だ。経営面とのバランスを考えながらも、病院の必要性を最優先したい。

農業振興

統一ダンボール普及は進んでいるか

問 この5年間、利用が増えていない。JAや新たな出荷組合との協議は進んでいるのか。

答 海川産業交流課長 新たな出荷組合が加入後、29年度にJAとの協議を具体的に進めたい。

問 農業振興に営農指導員は不可欠だ。正職員としての配置をするべきでは。

答 中田町長 営農指導員が退職して2年になるが、まだ後任者が見つからない。引き続き県や農業関係者に働きかけていきたい。

問 アグリサポート事業の取り組み内容は。

答 海川産業交流課長 勝浦アグリネットと農

作業拡充の協議を進める。作業者確保は町内の若手農業者を中心に人材を探していく。

町の宅地造成

問 横瀬地区の造成地4区画のうち2区画が売れ残り、造成費も高過ぎる。29年度も2000万円の当初予算を計上しているが、今後、十分精査して進めるべきでは。

答 中田町長 初めての試みであり、今回のことを十分検証し今後を生かしていきたい。住環境の整備は人口減少対策に効果的と認識している。



勝浦農業の宝

ヤングファーマーを紹介♪

- ① 就農しようと考えたきっかけは
- ② 今後の展望は
- ③ 農業を志す若者にエールを

うち たに やす ひろ
内 谷 安 宏 さん (35歳) 坂本



メインの作物はミカンとスダチで、他にもゆず、ゆこう、梅を栽培している果樹農家。



- ① 大学卒業後に就職で県外に出たが、行く前からいつかは戻ってこようとは思っていた。
就農までに農業の勉強はしていなかったため、祖父に教えてもらえるうちにと思い30歳の時に勝浦に戻ることを決めた。
- ② 規模は今のままで、効率化を目指す。
空いた時間に農業以外のことをやっていきたい。従来とは異なる新しい形態の農業を目指しましょう。
- ③ 農業は担い手が少なくなっているからこそ、やりがいと受け継いでいくことに意味のある仕事。
時間を自由に使えるところも自営の魅力ですよ。



- ① 青年海外協力隊で活動中、彼女の実家から送られてきたみかんの美味しさが忘れられず、勝浦町でのみかん作りを決意した。
- ② みかんを中心にパッションフルーツやアボカドも作っていきたい。
- ③ 農業は時間的に自由がききやすい。新しく南国フルーツ作りと一緒に取り組みましょう。

晃さんは千葉県出身、農業大学で果樹栽培を勉強しながら、みかんやシンビジュームを栽培。今年から地元消防団にも入団。



柳 田 晃 さん (38歳) 生名
ひろ 博 子 さん (37歳)

笑顔咲く

表紙写真

「こどもひろば」開所式



新学期、元気に登校

今の安倍政権は、憲法をないがしろにしているのではないか。
日本国憲法の前文は、「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し」と明記されている。アベノミクスは大企業だけが潤い、私たちに恩恵は届かない。外国に税金をばらまかないで、福祉に使って欲しい。
「年金をこれ以上減らさないで！ 国保税や介護保険料、消費税をこれ以上、上げないで！ 憲法9条で平和を！」
切実な声をしっかりと、受け止めて欲しい。
(みち)

編集後記

